茅野市社会福祉協議会情報紙

やらざあ

Vol.94
2012年　11月号

ふみだそう、福祉でまちづくり

第49回 茅野市社会福祉大会

～健康は笑いから～

「人生は楽しく面白く」

入場無料

日時　平成24年11月28日（水）
18：00～20：00

会場　茅野市民館　コンサートホール

◆第１部　　式　典(18:00～)
　社会福祉貢献者表彰、ボランティアグループ表彰
　緑のカーテン大作戦 in 茅野：優秀作品表彰
◆第２部　　講　演(18:30～)

【手話通訳・要約筆記があります】

●講　師　三笑亭　夢之助（さんしょうてい　ゆめのすけ）

さまざまな人間模様を面白おかしく、ユーモアのある話題が満載の講演です。

◆経歴
1949年6月北海道札幌市生まれ。
新宿末広亭をはじめ、各寄席に出演するとともに年2回の独講演を国立演芸場で打ち、落語の他にテレビのリポーター、司会、クイズ番組にとあらゆる分野で活躍。人の良さと明るさで各方面でも人気者。

高校野球の花巻東高校、佐々木洋監督の「失敗の考え方」

◎失敗を活かす人間と失敗でダメになる人間と二通りいる。

◎失敗とは成功の前であきらめてしまうこと。

◎成功の反対は失敗ではなく何もしないこと。

◎何度も失敗し、その中からどれだけのことを学び、そして活かすか。

◎反省は過去に向かってするものではなく、未来に向かって行うもの。

◎失敗には原因がある。その原因は成功へのヒントである。

先日、ノーベル賞を受賞した山中伸弥さんも同じ考えの持ち主。山中さんは「二十年近い研究で何十回トライしてもしょっちゅう失敗ばかりしていた。やめたくなったり、泣きたくなったりしたことがあったが、研究仲間の支援と、家に帰ると笑顔で迎えてくれる家族の支えがあったから続けられた」と話された。また、研究資金を募るため、今年の京都マラソンにゲストランナーとして出場し完走したとのこと。山中さんは「研究や人生もマラソンと同じ、勝てなくても最後まで走り抜かなければならない」と。まさに鎌田實さんの「あきらめない」。そして家族、仲間との「絆」。

ふれ愛フェスティバル

ボランティア活動みほん市

―みんなで集いおおいにふれあおう―

去る９月 30 日、家庭教育センター・ちの地区コミュニティセンターを会場に「ふれ愛フェスティバル」が開催されました。当日は、市内で活動するボランティア約 200 人が集まり、ステージ発表やフリーマーケット、また今回、はじめての試みとして、グループ活動の特徴や自慢をポスターにして紹介しあう「ボランティア活動みほん市」を行いました。

参加者でにぎわう
押し花体験・フリーマーケット

喫茶会場が手話講座になりました

講師の内山二郎さんを交えた
振り返りの会

お互いにエールを送ったり、新しいつながりが生まれ、相互交流が出来たことは大変良かったと思います。

≪内山二郎さん（長野市ボランティアセンター運営委員長）の話≫

ポスターみほん市の良さは、作品を作るプロセスで仲間作りや活動を振り返られること。今日、生まれたすてきな縁を是非今後に生かしてください。

≪お知らせ≫

今回「ボランティア活動みほん市」で使用されたポスターを 11 月 28 日～ 12 月７日の間、市役所１階ロビーに展示します。多くのみなさんに活動を知っていただきたいと思っています。

会場と一体となったステージ発表

工夫と話し合いで自分達の活動をアピール

事前に行われた「おらが自慢のポスター作り講座」を通して、グループの結束が高まり、強い仲間意識が生まれました。また、他の団体の方たちと一緒に時間を共有し、多くのことを学べました。

ボランティア活動みほん市は初の試みでしたが、事前のポスター作りを行う中で、自分たちの活動を振り返ったり、他の団体の取り組みを知り、交流しながら輪を広げていこうというねらいがありました。工夫をこらしたポスターを見ながら、互いにエールを送り合ったり、早くも一緒に取り組みを行う話がまとまったり、新しい仲間として活動に参加する方も出てくるなど、全体がひとつになった感じがしました。

実行委員

直接話をすることで
お互いの活動の良いところを発見 !!

伝えたい要点がコンパクトに表現されているため、活動内容が分かりやすかったです。

社協会費にご協力いただきありがとうございました

平成24年度社協会費の納入に多くの市民のみなさんからご協力をいただきありがとうございました。また、区・自治会関係者のみなさんには、会費の納入にあたりご協力をいただきありがとうございました。

社協会費は介護者の方々のいこいの集い・障害者のみなさんの希望の旅・シャララほっとサービス・やらざあの発行・社会福祉大会の開催・各地区の地域福祉活動やボランティア活動の支援など、茅野市の地域福祉推進のために、大切に使わせていただいています。

総額　10,490,483円

件数　9,501件（10月10日現在）

（内訳）　普通会員　8,722,383円（8,803件）　賛助会員　930,100円（465件）
特別会員　838,000円（233件）

社協会費は、年会費でお願いしておりますので、まだご協力いただいていないみなさんには、ぜひご協力をお願いいたします。≪納入先:各地区コミュニティセンター又は、茅野市社会福祉協議会までお願いします。ご連絡いただければ、お伺いいたします。≫

希望の旅

～在宅で生活されている障害のある方と介助者の旅～

今年度の希望の旅も大勢の方が参加され、飯山・小布施方面に行ってきました。飯山の高橋まゆみ人形館では、昔懐かしい創作人形の世界を楽しみ、ブドウ園では甘い巨峰を味わいました。小布施では北斎館に立ち寄った後、小布施の町並みを散策しました。日帰りの旅ではありましたが、ゆっくりとした楽しい旅行になりました。

『参加者の声』

- 高橋まゆみ人形館は昔の家庭を思い出しました。
- 初めて参加させていただいてとても楽しかったです。
- 七夕のように一年に一度、楽しい仲間に会えて本当に感謝。
- バスの中も和気あいあいとして楽しかったです。

家庭介護者いこいの集い

～家庭で介護している方々のリフレッシュ事業～

今回は、33名の参加のもと富士花鳥園と朝霧高原に行ってきました。朝霧高原のススキ、富士花鳥園の見事な巨大球根ベコニアの花、かわいいペンギンへの餌やりを楽しみ、日頃の介護から離れ、楽しいひと時を過ごしました。

『参加者の声』

- 皆さんと介護の話ができ気持ちが楽になった。
- 満開のベコニアの花の中で昼食ができ満足し気持ちが洗われました。
- 朝霧高原のススキに感動しました。気持ちがいやされました。

ひとりで悩まず まず相談

人生には様々な悩みがあります。だれにも相談できない、どこに相談したらよいかわからない。そんなときは、まず社協にお電話ください。

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください
（第３金曜日は年金相談もできます。）
毎週金曜日　午前9時～正午
相談員：心配ごと相談員
心の悩み相談には、事前の予約が必要です。
（カウンセラー、精神保健福祉士が対応）

結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓口
毎月第１・３土曜日
午後１時～午後４時
第２・４金曜日
午後６時30分～午後８時30分
相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

身近な法律に関する相談
毎月第２水曜日　午後３時～午後５時
相談員：司法書士　予約電話／73－4431

あなたと家族の悩み相談　～家族のサポートライン～

ご家族を亡くされた方、病気に直面されている方ご相談ください
毎月第1月曜日　午後 ２時～午後４時
相談員：ボランティア
直通電話／82－0400

福祉やボランティアについての相談

月曜日～金曜日　午前8時30分～午後5時30分
電話／73－4431　ＦＡＸ／73－8030

相談は、総合福祉センター３階の相談室
または１階の社協事務所までお越しください

社協情報紙 やらざあ Vol.94
2012年　11月号
２０１２年１１月１日
発行／社会福祉法人　茅野市社会福祉協議会
編集／やらざあ編集委員会
〒391-0002　茅野市塚原2－5－45
TEL (0266)73－4431
FAX (0266)73－8030
URL: http://sharara.or.jp
E-mail : support@sharara.or.jp

読者の声

・「ちの広報」が配布されてくると、まっ先に「やらざあ」を読みます。　（40代男性　湖東）

・年長さんの男の子、甘えんぼうのゴタ男君、保育園の運動会の競技でキビキビと張り切っている姿を見て子どもの成長に目頭が熱くなりました。　（30代女性　玉川）

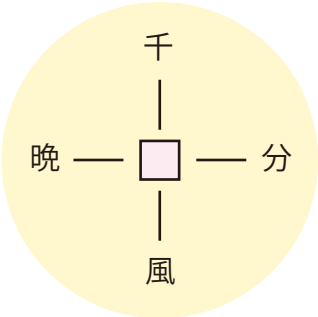
・北部デイサービスへお話しボランティアに月1回行っています。この時、元気なおじいちゃん、おばあちゃんの笑顔が素敵です。“こんにちは”と言えば“こんにちは”と元気なあいさつが返ってきます。あいさつは人と人、心と心を結ぶ愛のかけ橋だと思います。　（60代女性　湖東）

・“やらざあ”を読むようになって少しずつ福祉のことがわかってきたように思います。私にも出来ることがあれば役に立つでしょうか。　（60代女性　玉川）

※「やらざあ」がお役に立ちうれしく思います。ご自身の身近で出来ることからはじめてみてはいかがでしょうか。
編集委員より

今回はクイズ　二字熟語

四角に入る共通する漢字は何でしょう。



応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢（年代）電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあの感想、つぶやきなど一言添えて社協までお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り

１１月末日

前回の答え

能力・複写・訪問・絶対・専門

当選者

伊藤きみ子さん（宮川）矢﨑洋さん（湖東）山岸優乃さん（玉川）

社協情報紙 やらざあ の発行にはみなさんの会費が使われています。